

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2015年6月13日（土）～14日（日）

＠つくば国際会議場（茨城県つくば市）

ワークショップ4

タイトル 臨床研究の同意説明文を作成してみよう

日時 6月13日（土） 9:00-10:30

企画責任者 西村 真紀（委員会企画：倫理委員会）

定員 25名

開催の目的・概要

【開催の目的】

【目的】日々の臨床から生まれる課題や疑問に対して研究を行い、その根拠や指標を示していくことはプライマリ・ケア医にとっても重要な役割の1つです。そして、高いリサーチマインドと臨床研究の知識を有したプライマリ・ケア医の育成が求められています。

リサーチマインドを持つことは臨床医の生きがいにもなります。このワークショップでは、臨床研究の基本的知識・技能として「同意説明文を作成」できることをめざし、その過程で臨床研究の理解を深める事を目的とします。

【概要】

【概要】学会倫理委員会企画で「臨床試験医師養成協議会（代表・高久文麿）」の後援により実施します。比較的ありふれた内科疾患の薬物療法に関連した内容を題材としてワークショップを構成しています。（2013年11月に大阪で実施したワークショップ「医療倫理」の内容を簡略化したものです。）

まず、作業手順の説明後に小グループに分かれて自由に作業を行います。各グループには現役のリサーチコーディネーター（CRC）がファシリテーターとして参加します。途中ミニレクチャーを挟み、最期にグループの作業内容を発表していただきます。発表内容に対して講評をいただく中野重行講師、小林真一講師は元臨床薬理学会理事長で臨床研究の専門家です。

このワークショップに参加していただくことで、実務的に重要な「同意説明文書」を作る能力を高められるだけでなく、臨床研究で最も重要な倫理の問題を掘り下げて考えたり、さらには臨床研究全般の理解を深めたりする機会になるものと考えています。

なお参加者には臨床試験医師養成協議会より「受講証」を発行します。